

# 新委員長に石水氏

## 社会党県本部「保革逆転」めざす 定期大会

社会党県本部の第四十三回定期大会が十一日、松山市味酒町一丁目のゴールドビル味酒で開かれ、代議員約百三十人が出席。当面の参院選、衆院選勝利による「保革逆転」をめぐり、

### 媛県本部



参院選勝利による「保革逆転」をめぐり、

冒頭あいさつに立った田中恒利委員長は「県民が社会党に求めているのは、自民党から政権を奪うこと。衆参国政選挙での保革逆転に全エネルギーを投入したい」と決意を披露。緊迫する中国情勢にも触れ「北京では軍の発砲で、市民、学生多数が死傷した。中国は最も近く親しい国だが、この出来事は人道に許されない。日本政府の毅然たる態度を望む」と述べた。

運動方針案の質疑では、参院の連合統一候補池田治氏の推薦と衆院一区の宇都宮真由美氏の公認を確保、前回大会

役員改選では、衆参両院候補擁立や社会文化会館完成と、いふ懸案解決などを理由に委員長勇退の意向を示していた田中代議員が顧問に退いた。新委員長には県議歴が最も長い石水氏が四役推薦を受け、満場一致で選ばれた。石水新委員長も「リクルートゲート追及、消費税撤廃」などを強調するとともに国政選挙必勝を訴えた。

他の新役員は次の通り(〇は新任)。

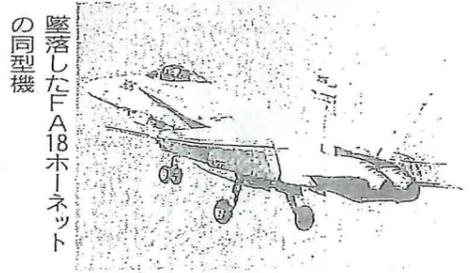
- 【副委員長】梅崎雪男、田中晋、〇田中徳三郎
- 【書記長】成見憲治
- 【統制委員長】新谷義雄
- 【顧問】藤田高敏(特別執行委員長兼務)、〇田中恒利(同)、兵頭定雄、〇宇都宮真由美

石水清氏(いしみず・はるせい)・宇摩郡連合青年団長を経て昭和29年、土居町議。38年に今治市から県議初当選以来連続7期当選。日中友好協会全国本部副理事長。全日農連会長。旧制三島中退。土居町出身。66歳。

# 野村に米戦闘機墜落

## 山腹へ激突、爆発炎上

### パイロット救出



墜落したF18ホーネットの同型機

十二日夕、東宇和郡野村町の山中に、米軍戦闘機F18ホーネットが墜落、爆発炎上した。パイロットはパラシュートで隣の北宇和郡広見町の山中に降下、地元の人たちに救助され、救援に飛来した米軍ヘリで岩国基地へ向かった。墜落現場では山林火災が発生したが、雑木などがわずかに燃えただけで住民には被害はなかった。

同日午後四時五十二分ごろ、東宇和郡野村町の通称山の中に、戦闘機が墜落、炎上したと、同所、鉄工所勤務大塚憲さん(53)から野村署に通報があった。同署によると、この戦闘機は米軍岩国基地のF18ホーネット。乗員一人はパラシュートで脱出、北宇和郡広見町土屋の山林に無事降下、同町清水の町立愛治小学校に飛来した。米軍ヘリで同日四時四十七分、

岩国基地に向かった。目撃者の話では、戦闘機は三機編隊で野村町の東方から低空で飛来し、うち一機がすさまじい音とともに山腹に激突、真っ赤な炎を噴き上げた。米軍岩国基地は事故後、野村署に「基地所属の飛行機が墜落した」と連絡してきたが、「通常の飛行訓練で実弾は積んでいなかった」とコメントしている。



【広島】東宇和郡野村町の山中に墜落炎上した戦闘機F18ホーネットの所属する米軍岩国基地(山口県岩国市)は、十日配備が始まったばかりの新鋭A7Bハリアー垂直着陸機が現在計約七十機が所属するアジア太平洋地域をならむ米海兵隊の前線拠点。F18は昭和六十二年七月、F4戦闘機部隊に代え、二個中隊計二十数機が岩国基地に配備された。全幅一・一四、全長一七・一、攻撃行動半径は一千五百以上。核兵器の搭載は可能で、その弾薬搭載量七・七は巨大な破壊力を持っている。同時にマッハ一・八以上の高速と優れた運動性能を誇り、実戦では対地攻撃をする同基地のA7B

とほぼ矛盾がなかった。調べによると、綾子ちゃん(6)は六日午後四時すぎに母親と一緒に保育園から帰宅。同五時ごろ「友達と遊ぶ約束をしている」と言い残して外出した。同六時前、自宅近くの保育園園先で一人でいる綾子ちゃんに保育母が声を掛ける。数分経って来たが、その後姿を消した。

核の搭載可能 行動活発化? 今回の事故を含め、F18の行動実態は明らかでないが、軍事評論家小川和久氏は「岩国基地の海兵隊は、朝鮮半島や連極東部を想定し、日常的に攻撃訓練をしていく。米海兵隊唯一の海外派遣実戦部隊の第三海兵遠征軍(沖繩県)が指揮しており、中国の反体制物理学者方励之氏をめぐる米中関係悪化もあって行動が活発化している可能性が高い」と話している。岩国基地の監視活動を続け

# 正副議長人事で紛糾

松山市議会 会期を延長 浄化を求める請願四件を、

役員改選では、衆参両院候補擁立や社会文化会館完成と、いふ懸案解決などを理由に委員長勇退の意向を示していた田中代議員が顧問に退いた。新委員長には県議歴が最も長い石水氏が四役推薦を受け、満場一致で選ばれた。石水新委員長も「リクルートゲート追及、消費税撤廃」などを強調するとともに国政選挙必勝を訴えた。

鎮火した。野村署では県警本部や大洲署から応援を得て、現場付近の保存に当たるとともに、十三日午前八時半からの米軍岩国基地機体収容作業に合同捜査を申し入れる。

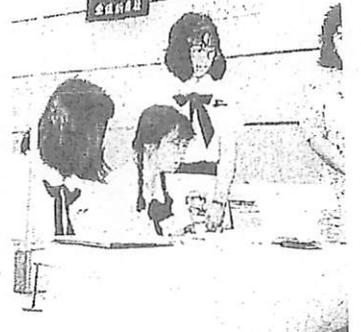
本県では、一年前の昭和六十三年六月二十五日にも西宇和郡伊方町九町越の四国電力伊方原子力発電所付近に七人乗りの米軍ヘリが墜落、全員が死亡するという事故があり、米軍機の原発上空飛行が問題化し、国会でも議論された。その記憶も新しい十三日に再び米軍機がダム近くに墜落したことで同町民らは「野村の上空はよく戦闘機が通り、航路になっているようだ。こう墜落が続くとおちおちしておれない」と不安と憤りをのぞかせている。

JR予土線からSLが姿を消して二十二年。そのSLが再び予土線に帰ってくるようになった。この秋、たぐさんのSLファンを乗せて、宇和島市の北宇和島駅と高知県窪川町の若井駅を結ぶ約七十八キロを、汽笛を鳴らし黒煙を吐きながらのんびりと走る。その後もSL復活の計画は昨年秋、宇和島市の議会関係者が地域おこしの起爆剤にしようとする案、沿線の町村に呼びかけたのがきっかけ。北宇和郡内だけでなく高知側の町村も巻き込んで、誘致のための協議会を結成し、県境を越えての熱心な運動が続いてきた。SLは、今や貴重な存在のよう。最盛期には約六千両を数えた「陸の王者」も、旧国鉄の合理化計画の中で次々と廃止され、全国に残るSLは現在、約五百余両。それも大半が公園や小学校に展示保存されている。眠れるSL。実際に動かせる状態のものには、JR西日本の京都梅小路SL館にある五両だけという寂しさ。今回予土線を快走するのは、この五両のうち、ポニーの愛称で親しまれる「C56型-160号」。昭和十四年生まれで四十年代後半に引退し、梅小路に移籍後はSLブームに乗って各地のイベントなどに引っぱりだこの人気。先月もJR多度津一琴平間を走ってファンを喜ばせたばかりだ。急坂を登る時のあえぎ、遠く長く尾をひく汽笛の悲しさ。ファンにとってSLは、「生きもの」なのだ。石炭の燃える独特のにおいが、幼い日に母の背でSLに手を振



説明会には関東、近畿などの主な大学・短大二十七校の入試担当者が出席。午後一時半からは県内高校、予備校の進学指導教師らが、前年度入試の結果や本年度の推薦入

目立った。会場では大学紹介パンフレット、入試資料も用意され、早くも「入試ムード」をたがよわせた。



入試担当者の説明を聞く女子

ると忘れ物が多くなりがちと注意を呼びかけている。**暴走族対策**……山

を起す率の高い若年対策を中心に進める必要がある」と指摘した。山本局長は社会問題化している暴走族に際しても構成員の八八%が少年で、うち七五%が捕縛歴のある点を強調、「暴走族取り締まりと並行して少年問題の観点から対処したい」と述べた。

今治海上保安部の調べで、深田サルベージ建設(本社・大阪市港区)の作業船など十隻が出動、夕方までに回収した。流出は約二時間で止まった。

オ号の重量は、積んでいす乗用車九百三十三台を含めて約五千九百ト。五千トを超え大型船を解体せずに引き上げするのは日本で初めて。

# 県民に大きな不安与えた

## 伊賀知事 岩国基地などに抗議

十二日夜、東宇和郡野村町の山中に米海兵隊岩国基地のジェット戦闘機が墜落した事

に事故原因究明と安全対策の徹底を要請した。本県では昨年六月にも伊方原発近くで米軍ヘリが墜落しているだけに県では事態を重視、同日、県幹部が岩国と東京の関係機関に緊急派遣した。要請内容は「再度事故が発生し、県民に多大の不安を生じさせたことは誠に遺憾。原因究明と安全運航について、万全の措置を講ぜられるよう、強く要請する」というもの。

と不安感を与え誠に遺憾だ」と語り、前回事故も含め強く抗議するとともに航空機の安全運航の徹底と原因究明に万全を期すよう要請したことを明らかにした。

同知事はまた、土佐清水市の米軍訓練海域と岩国基地を結び本県上空を頻りに飛行している点に触れ「県民の素直な気持ちとしては遠のいてほしい」と語った。しかし「米軍訓練については関係各省とも飛行コース、目的など実態把握が困難で的確な情報を得られない状況にある」と、大

が、同知事は引き続き要請していく考えを示し、さらに松山空港の航路進入管制権問題で「岩国基地の支配下から独立、改善してほしい」と念願している」と語った。

伊方原発上空の飛行回避を四電が再度申し入れ、東宇和郡野村町山中への米軍戦闘機墜落事故に関連して四国電力の吉岡正行原子力部長は十三日、米軍機が伊方原発上空を飛行しているのかどうか調べて、原発上空の飛行回避が一層図られるよう再度、関係省庁に申し入れるかどうか検討している」と述べた。



米軍機墜落で記者会見する伊賀知事

次々と降り立つ米海兵隊員。東宇和郡野村町の墜落現場付近

### 野村の米戦闘機墜落

記者会見で伊賀知事は「墜落事故は、県民に多大の衝撃

社会党 伊賀知事に要請

社会党は「昨年の事故後も相変わらず米軍機が原発上空を飛行していることは地元住民の証言でも明らかだ」とし、たうえで、米軍に対する事故原因公表や機体引き渡し拒否を含めた抗議を要請した。

昨年六月に米軍ヘリが伊方原発近くに墜落した際、四電は通産省資源エネルギー庁長官に原発周辺上空の飛行規制の順守を関係省庁に要請するよう文書で依頼。また、伊方原発にこの三月、上空飛行回避に有効とされる視認性の高い閃光(せんこう)式灯火設備を設置している。

冒頭陳述によると、井上被告は病弱の両親と同居、世話をしていたが、事件の直後に父親が死亡し、葬儀などで精神的、肉体的に疲れ、目や耳が不自由な母親の将来を案じ「いっせいで死んでしまっただけが幸せ」と考え、さる三月三十日午前六時ごろ、身づくろい中の母親カズ子さん(当時60)をハンマーで殴りつけた上、首をしめ窒息死させた。

# 戦場

## 緊迫…調査始まる

住民に不安 飲み水大丈夫?



で十四日までに、奈良時代に  
備前として使われたとみられ  
る遺跡の概要を述べた施設  
が見つかつた。

奈良時代の遺跡はこれまで  
資料がないため、正確には  
よく分かっておらず、一般  
的に川や遺跡に垂れ流してい  
たと考えられていた。今回の  
発見は人口二十万人といわれ  
る山城の都市生活を知る上  
で貴重な資料となりそうだ。

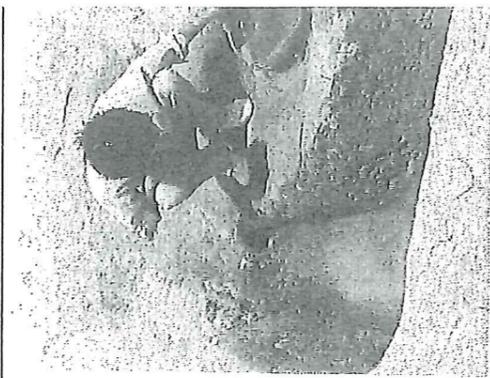
同市教委は遺跡であること  
を確認するため、かめ屋に  
あった土を採取。帯広藩大

坂に当たる約十六百平方  
メートルの遺跡で、奈良時代前  
半には、左大臣・藤原氏の邸  
宅に匹敵する約六千平方メートルの  
貴族邸があったことが確認さ  
れた当時の「平地」。

遺跡とみられる施設は、人  
工的に掘られた穴に遺約五  
十センチ、深さ約三十五センチの  
溝をめぐり、その上端を削いで一  
回り小さなかめを置いてい  
た。一重のかめの底には、い  
ずれも直径二十センチほどの穴を  
あけていた。かめを囲むように  
一辺約一メートルの正方形の溝がめ

た。このかめは奈良時代後半に  
各地を分割していた遺跡の側  
壁上に設置し、公共的な施設  
の性格が強いが、どのように  
汚物を流していたかは分ら  
ない。地上に何らかの建造物  
があり、かめは便槽に当たる  
とみられる。

奈良時代の下水道につ  
いては、平城宮に隣接する礎に  
汚物を捨て、それを因幡川に  
流していったとされている。  
当時の生活は動物性タンパ  
ク質が少なく、臭気はあまり



奈良時代の遺跡とみられる

には公衆便所もあったとい  
うが、一般民は側溝などに垂  
れ流していったとされている。  
当時の生活は動物性タンパ  
ク質が少なく、臭気はあまり

### 松山の集団赤痢終息

県が海外旅行者に防止文書

県は十四日、松山市の集団  
赤痢発生について「今回の流  
行は終息した」と終息宣言を  
した。最初の患者発生から  
三十三日。また、海外渡航  
者の増加で、今回のケースの  
ように赤痢などの伝染病の国  
内持ち込みの増加が予想され  
るため、県では県内の七十  
五の旅行者に対して、社員

・旅行者への衛生教育を徹底  
し、海外旅行に伴う伝染病の  
発生防止を求めた文書を出し  
た。

今回の集団発生は、松山市  
内の会社員らがインド・ネパ  
ール旅行中に赤痢に感染。住  
居の下水汚水溝(茅葺)のこ  
じり臭れと井戸水が汚染し、こ  
の会社員の家族が経年する暇

し、その責任を取り辞任。後  
任は竹井氏と同じ文部省から  
御手洗衛官長を迎えた。さ  
らに、大鶴英雄前教育次長も  
十三日付で辞任した。

赤痢新委員は記者会見で  
「今回の一連の騒動も御手洗  
執行部の発案で一応決着し  
た。野見山さんは人心一新が  
済んだので辞任した」と語っ  
た。

タンカーが座礁  
中島の野見山部長  
十三日午後十時十分ごろ  
温泉郡中島町野見山島カク

大阪の教組委  
【朝】大阪府高  
木(高木市羽衣  
校長)の教諭で泉  
合の執行委員長  
の担任するクラス  
の子供四人に傷  
と訴えてわいせつ  
したことが分り、  
委員は十四日ま  
で謝罪書提出に  
高木市教委によ  
り、委員は十四日  
朝、高木市教委  
の執行委員長に  
謝罪書提出を命  
じられた。委員は  
「わいせつ行為  
を命じられた上  
で、別の日に他の  
二人に同様のこと  
をした。」

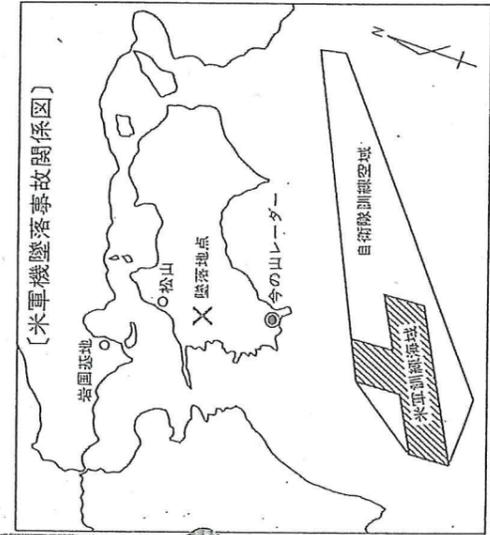
# 原因公表阻む 機密のベール

## 野村の米戦闘機墜落

### 訓練 それとも帰還中?

地元民に 目撃証言まちまち

る十三日に真和郡野村町で起きた米軍シエッタ戦闘機墜落事故は、十四日も  
軍用基地の調査、処理作業が進められた。墜落原因などは、軍事機密を理由に明ら  
かにされていない。「もし、野村町や町の住宅地に落ちたら」と地元民の不  
安をぬくまいと、真和は厚く日米安全保障協定の「壁」に阻まれている。



現在までの情報では、墜  
落は十四日午後五時五分だ  
と目撃者の話では、進入  
方向は真南、機も一機  
二機と、まちまち。機が現  
場を離れ、別の二機が来た  
とされている。

機体の墜落直前の様子も  
説明して落ちた機体が炎を  
噴いていたとまちまち。  
なかには、墜落後の救護機  
の旋回と、事故当時の話が混乱  
し、証言も確定要素をはら  
んでいる。

非公式に伝えられた話で

は、事故直前、墜落機がA18  
ホーネットは、岩国基地帰  
還中、機体機能が完全でなく  
として、福岡航空交通管制部  
に、岩国への優先帰還を求め  
てきたとされている。機体は  
高知県土佐清水市の清水航空  
無線機所の上空四、五キロ  
を通過したのが確認された数  
分後に、レーダーから消えた  
という。

避難者の設置した高知県西  
部の「今の山・航空墜落観  
測レーダー」はその監視エッ  
スが四国沖はるかに広域を  
ることから、A18の墜落は  
正常な状態でキャッチでき  
ていたと思われる。

野村町民は、これまでも  
軍用機の飛行があったとい  
う。岩国と高知は数日に一

度、訓練機が往復している  
という人もいる。米機が自  
衛隊機にははまりしない。  
隣県の高知では、近年に自衛  
隊機の低空訓練が県議会でも  
問題された。

今回の墜落が、訓練中また  
は訓練後のアタッシュとして  
ても、高知沖の空母などの  
共同訓練だったかの有無、通  
常の帰還コースを飛んでいた  
かなども、明らかにはされて  
いない。

米軍の訓練区域は、土佐清  
水沖に占拠に広がる「リマ海  
域(Rim)がある。これ  
に連なると「I区域」と呼ば  
れる「自衛隊高々度訓練・試  
験空域」もある。日米共同訓  
練時には当然、両域が共同使  
用される。

岩国の市民運動関係者は  
今回の墜落をこう推定して  
いる。

「通常の飛行高度は、八  
千五百で、機首が傾く程  
度。それが四千五百で飛ん  
でいたようだ。事故が起きる

と、まず岩国基地にたどり着  
きたい、次に帰還を急ぐ。  
騒音も、自分がどこに降ろ  
うかと考える。パイロット  
は降下後、スタートと言って  
いたと、どこか学校校  
庭を目標にパラシュート降下  
しようとしたようだ。

F18ホーネットは、戦闘  
行動部隊が少連の一部、朝鮮  
半島、中国大陸沿岸部まで届  
く千時、マッハ1.8。岩  
国から十分ほどで、中国大  
陸に到着できる。海軍の万能  
戦闘、攻撃機で、機首を指  
差できる。今回の墜落事故は  
改め、軍事機密、岩国と愛媛  
の近きを県民に強く印象づけ  
た。

野村町の空母申し入れ  
県、仲介断る

真和郡野村町の山崎磯町  
長は十四日、県調整振興部の  
担当者と会い、米軍戦闘機  
の墜落事故の原因究明と安全対  
策について町民の申し込書を  
米軍に呈渡してもらうよう要

求した。

これに対し、県は、大抵では  
理解を示したものの「十三日  
以降ですら、米軍岩国基地が  
命令や外務省などに抗議して  
いる」とし、▽機体機密に機  
密はなかつたが、機体のコ  
ースを飛ぶだけだと、細  
かい点については仲介を断  
り、「町民の申し入れはほし  
いとの考えを明らかにした。  
町では、場合によっては  
岩国に直接行って申し入れな  
ければならぬ」と話してい  
る。

岩国基地司令官  
から陳謝の電報

真和郡野村町の山中に米  
軍機隊岩国航空基地のシエ  
ッタ戦闘機が墜落した事故  
で、ロバート・E.パス同  
基地司令官は十四日、今回の  
事故について陳謝する内容の  
電報を山崎磯町町長宛に送  
った。

内容は「このたびの事故に  
対し心からお詫言申し上げ  
るとともに、今後の事故防止  
に努力致します。なお、関係  
者のご協力について感謝しま  
す」となっている。

事故後米軍側からは町に  
対して謝罪や陳謝は一切なく  
関係者の一部が来町を拒んで  
いた。町民の中にも不安を  
隠しきれない状態が続いてい  
る。

## 綾子ちゃん 殺

### 異常な行動に共通点 切断遺体 数日身辺に置く

【飯能一増五郎】綾子ちゃん誘拐殺人事件の埼玉県警捜査本部は十四日までに、目撃証言から遺体が  
同県飯能市富沢の富沢橋公園に発見された。また、誘拐されたのは、

死なせた女性」と誤謬。自分  
の手による話として「いつの  
間にか壊れた両手を握ら  
せてやることにできなかった  
「ひまわり」が全身に  
でる...」など、死後遺棄な  
ら死体の変化の様子を説明に  
電連れている。

このため捜査本部は、綾子

切断するほど、犯行をエスカ  
レートさせた可能性があると  
みている。

早期解決してほしい  
警察官が異例の指示

飯能警察署長(自治  
相)は十四日の警察地方政  
策委員会、真和郡江東区農産

を総動員して早期解決しほ  
しい」と異例の指示があった  
ことと明らかにした。

その上で、同警察署長は  
「あのような社会的

福家 美容外科  
飯能市富沢町

福井 隆雄氏(ごまゆい)  
いそし(神戸大名誉教授)  
十三日午後七時二十五分、飯  
能橋(ごまゆい)のたもと  
市富沢区の富沢橋公園で死  
去、七十五歳。遺体は山中  
に発見された。遺体は二  
三センチ、頭部は十五  
日午後から富沢区山手二

# 請求退ける 内子

「けりに加担の件は警備された建物は既築の建物群保存民芸館として最善。従って、町議会の議決を要する」として設置され、不当支出と言った。

ハコレクションに出すのは「薬巧」では条例並びに従って、適正に特定されたけりとしていない。けり運任するのは、請求の対と述べている。

「三百円は収入でられている不当措置に該当しない」とも請求を

**米軍機安全運航の徹底 野村町、改めて県に要望書**

東宇和郡野村町の米軍戦闘機墜落事故で、同町は十五日、米軍に対し事故原因究明と安全運航の徹底を強く求める要望書を送った。

**新党で参院選出馬へ プロレスラーのアントニオ猪木さん**

猪木さん(本名・猪木寛至)は十五日、東京都内で会見し、参院比例代表選挙に新党を結成して出馬する意向を固めたと発表した。党名など



参院選出馬に意欲を示すアントニオ猪木さん。15日午後、東京ホテルの全日空坂

望書を改めて県に提出、受理された。

一方、事故現場ではこの日も引き続き、米軍によって原因究明調査が行われた。また、山の斜面に激突した際、周辺に飛散した戦闘機の残骸の一部が回収された。地面にめ

り込んだ機首などの搬出作業は、林道から現場までの約百メートルに道路を取り付けて行う方針で、地主と交渉中。

同日午後、米国海兵隊岩国航空基地のロバート・L・パス司令官(大佐)が現地を初めて視察した。

はまだ決まっておらず、来週



同音異義

から大変なものだ。それは相性が悪い、などイシヨウの熟語を交差連続してたいて引き「相性」「合性」「愛唱」「哀傷」、最後には「帯」という熟語まで出て、しかし、便利だ

# 与にア製

随に販売した血子製剤「クリオ3」。

八月から使い始者の幼児にB型幼児には同剤以外は使っておらずによる感染も起こりかねては現在退院し、ているとい

と、問題の製剤B型肝炎ウイルスでない」とのほか、製剤に汚染の有無すらも陰性だし、安全のから使った四口刑八千本分の

# 学校嫌い こうして解決

愛大教育学部生がヒントの数々

1989.6.16付



## 「自然造り」学校宿泊「帰りの握手」規則なしの日

アイディアいっぱい「学校を楽しくする」

児童生徒の学校嫌いを解決していくヒントになればと、教員の卵である愛媛大教育学部生が「こんな学校、先生ならいい」「こんな授業をしてきては」など創意工夫を凝らしたアイデアを提案、これを同大学の福井康之教授(教育心理学)がまとめ、冊子「学校を楽しくする」に作りあげた。

アイディア集には▽学校のなを設ける▽帰りの握手で言いたいことを受け付ける▽かに川や山の自然を造る▽先生―生徒のぬくもりを▽留学期に一度、学校に泊まる日

守番電話により学校や先生にそれを通じ何が大切か考え合

うーなどを多彩でユニーク。学生たちの学校教育への熱意がうかがえ、中には実現に移せそうなものもある。

福井教授は、子供たちが学校へ行くことを義務としてしか感じなすなり、学、喜びや楽しみを見失って学校嫌いが広がり始めていると思い、同学部の昨年度後期授業のレポート替りに取り上げた。三

この中で、先生嫌、校嫌、授業嫌いの原ついているとして、好ま師像をあげる意見も目「教師があり表情豊か

を楽しくする」というルをつは、現場の先輩たちのヒント、触発は、と県内の全小・中冊子を送付した。

この中で、先生嫌、校嫌、授業嫌いの原ついているとして、好ま師像をあげる意見も目「教師があり表情豊か

# 自宅放火に4年6月

松山地裁が実刑判決

サラ金への借金返済に行き詰まり、自暴自棄になって自宅に放火したとして現住建造物等放火罪に問われたと治市南島生町二丁目、飲食店経営西本(旧姓鈴木)忠雄被告(47)の判決公判が十五日、松山地

裁であった。金子与裁判長は「住宅街で行われた犯行はきわめて危険と言わざるを得ない。その結果も住宅を全焼させ、相当の損害を与えている。弁済も期待出来ず、被告の責任は重大」として西本被告に懲役四年六月求刑懲役七年の実刑を言い渡した。

判決によると、西本被告はサラ金に約二百万円の借金があつたが、病気でその返済に行き詰まった末、自宅に放火しようとした。今年一月三十日午後零時十五分ごろ、今治市南島生町二丁目の自宅(今治市南島生町二丁目、不動産業野間進さん)を所有し六

選取り締まり 方針を協議

県警、関係長会議

七月五日公示、二十二日投票

四重半の各間にカンリン約九割ずつをまき放火、家族が住んでいる同住宅を全焼させた。

選取り締まり 方針を協議

県警、関係長会議

七月五日公示、二十二日投票

# ロダンに触れる

「手で見える彫刻へのめめ展」の周辺

▷5◁

美術館の取り組み方一つで、視覚障害者の夢がかなえられる。三重県立美術館(三重県津市大谷町、陰里鉄郎館長)は、それを立証する数少ない公立の美術館だ。申し出ればボランティアの人たちが誘導、自由に触って「見る」ことのできる作品は、同館所蔵の彫刻・工芸合わせて六十点余り。ニーズに応じて作品紹介もしてくれる。森本孝普及課長(右)の案内で同館を訪ねた。

## 「壁のない美術館」

島の娘が目についた。森本さんは「大きな帽子、貴婦人のイメージを持つ、左藤さんには珍しい素朴な彫塑です」という。目を閉じて、触ってみた。ゴッコンとして、鼻が低い。左右のはおのふくらみも違う。島の娘の生活臭が伝わってくるようだ。

は、橋本平八(伊勢市出身)の木彫六点在、台座に展示されていた。「木には、仙が宿る。私はそれを彫り出すだけだ」と、触れて見るこの意識を説いた大正末期の彫刻家、代表作の「猫」もある。第三室は「ヨーロッパ近代の絵画展」。フロアには、ロダンの「化粧する女」「ブルデルの「ベートルヴェン」のプロソスもみえる。どの作品も、低い台

五十七年九月にオープンした。視覚障害者にはうれしい「壁のない美術館」となったのは、五十九年の春に開いたイタリアの現代彫刻家ジャンコモ・マンズー展」がきっかけだった。「盲人に開放してほしい」という巨匠の意向で開かれた同展の開催以来、彫刻は触覚の芸術であることの認識が館内外で高まった。触ってほしい」と申し出る彫刻家も多かった。



# 奉仕団作り介添え

三重県立美術館

う一つのロビーには、郷土作家の陶器と木が三点。いずれも一坪以上の大作が床の上に並んでいる。

歴の上に「裸」で展示されている。ガラスケースもなければ、仕切りの「壁」もない。「すべて作家(著作権者)のOK済みです」と森本さん。

誤って作品が壊れないように誘導する役目もある。メンバーは、美術ファン。子育てを終えた市内の主婦が中心。手で「見る」ことによって、作家の魂に触れるような名作を一点でも多

く展示したい」と願う森本さんと同館八人の学芸員にとっては心強い「助っ人」だ。活動は、美術の広報、調査研究など。マンズー展以来、身障者のガイド役も買っている。輪番制で三人

# 故障で制御できず

野村の戦 開機墜落 米軍側、町に説明

東牟婁郡野村町の米軍機墜落事故で、米海軍隊岩国航空基地のウェズリー中佐二人が十七日町役場を訪れ、謝意を表明するとともに「墜落した戦闘機は高知県沖上空の訓練から帰る途中、急にコントロールできなくなり、今度の結果を招いてしまった」と、機体の一部に何らかの故障が生じたことを認めた。事故原因が、米軍関係者によって直接明らかにはされたのはこれが初めて。

同中佐とは、不在の山崎巖町長に代わって岡田稔収入役と寺野登総務課長が会い、地元選出の池田忠幸県議が同席した。

関係者によると、このなかで米軍側は「伊方原発の上空を避けるため、普通着園からは西回りで海上を通過している。戦闘機はトラブルが発生

したあとでできるだけ海上を通りたかったが、コントロールできず東方方向に寄ってしまった。操縦士は町を避けて山中に墜落すると判断して、脱出を図った」と説明した。

さらに米軍側は「今回事故を起したグループは、八年前無事故だっただけに残念だ。もう二度とこのような事故は起こさない」と述べた。

# しつこい「幅寄せ」は暴行

運輸手 略式起訴

【名古屋】大きなトラックに「しつこく」幅寄せ「され、怖い思いをした経験のあるマイカー」族は少なくないはず。一般道路ならまだしも、高速道路でうなりを上げたトラックが迫ってきたら…。こんな不安にたえるように、名古屋区検は十七日、山梨県大月

市内の中央自動車道で昨年十一月、並走中のライトバンに幅寄せしたトラックの運転手を暴行罪などで名古屋簡裁に略式起訴した。

暴行罪にいう「暴行」は、殴打や足げりのような直接的な暴力行為だけでなく、麻酔薬をかかせるなどの「人の身体に対する一切の有形力の行使を含む」と従来から解釈されてはいるが、幅寄せ行為に暴行罪を適用するのは極めて珍しいという。

略式起訴されたのは愛知県西春日井郡師勝町のトラック運転手A(仮名)。



# 朝ハツと傘開く

国家公務員離れ 11年連続I種競争率下がる 女性志願率は最高に 人事院は十七日、平成元年